

【舟形町】の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

・人口減少等の地域全体の課題

生徒数の減少、教員数の減少により複数顧問配置が不可能となったことから、部活動再編検討委員会で再編し、現在に至っている。

・地域移行の取組の現状

運動部活動はスポーツ少年団と連携した活動を行っており、スポーツ少年団の指導者が部活動の指導も担うなど、一貫した指導をしてくれている。

・地域移行を進める上での課題

持続可能な体制整備の工夫、活動財源の確保、指導者の質・量の確保、学校施設の効果的な運用体制の構築があげられる。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	1 校	全生徒数	9 6 人
域内の部活動数	6 部	実施した地域クラブ数	6 クラブ
全体の指導者数	1 5 人	全体の運営スタッフ数	3 0 人
主な運営団体	舟形町地域スポーツクラブ		
主な種目	サッカー、野球、バレー、テニス、バドミントン、吹奏楽		
平均的な活動回数	6 回/月	年間平均参加生徒実数	3 年：30人/クラブ 2 年：30人/クラブ 1 年：30人/クラブ
参加会費	3 0 0 0 円/年	主な活動場所	舟形中学校

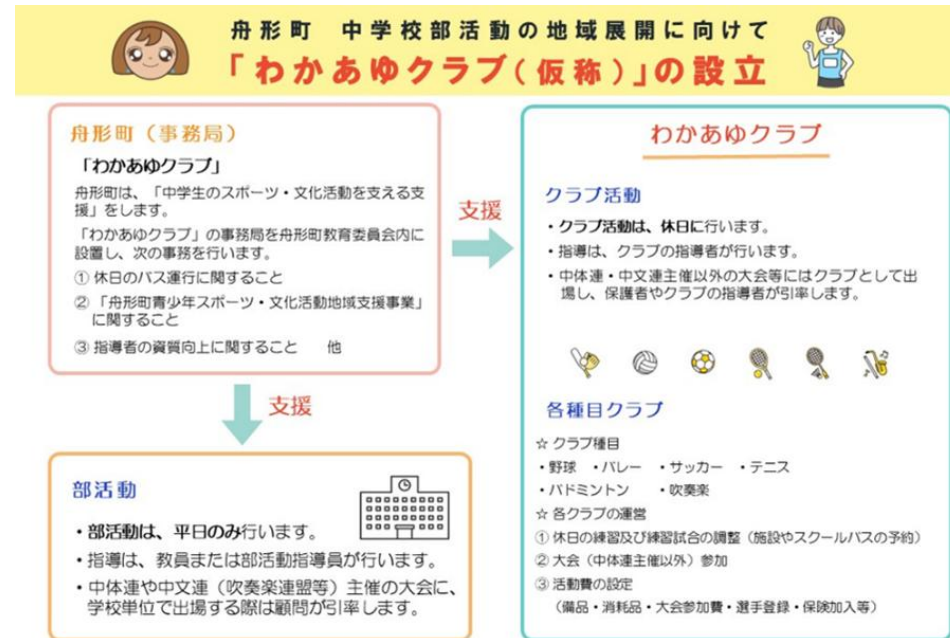
地域展開関連の取組・成果

・地域展開を実施するにあたって、「舟形町わかあゆクラブ」を設立し、町としても様々な支援を継続しながら子どもたちのスポーツ文化・活動を応援していく。

・地域展開に向けた全体的な取り組みとして、学校との情報交換会、各部活動の全保護者を対象とした情報交換会を複数回開催した。各部活動が抱える問題を把握し、今後の地域展開に関する方向性を探ることができた。

・舟形町の地域展開モデルクラブのサッカークラブである「舟形FC」については、舟形町の中学生のみならず、小学生も一緒に活動を行うことによって、クラブとしての継続性等の問題解決を図ることができている。また、加入者について、舟形町に限定することなく地域全体としたことによって、さらに継続性が高まった。

運営体制図



【舟形町】の部活動改革の取組み

活 動 の 様 子



プロサッカー選手による指導で部活動



クラブコーチによる指導でクラブ活動



U13～15年代でのクラブ活動



他地区や様々な年代でのクラブ活動